

申請者氏名 病葉 太郎  
 申請者所属施設名 〇〇病院

感染制御に貢献した業務内容の要約

業務内容 (1)	業務内容の種別 (該当する番号に ○を付けてくださ い)	1. 院内ラウンド・抗菌薬サーベイランス 2. ○ 薬物血中濃度モニタリング 3. 薬剤管理指導業務 4. チームとしての活動 5. 薬剤部門での業務 6. 感染対策マニュアル・抗菌薬ガイドライン 7. 抗菌薬の使用制限 8. その他 ( )
	業務内容の要約	46歳・男性、MRSA 脊椎炎で入院。(入院期間2ヶ月) 患者はバンコマイシンを投与しており、薬物血中濃度モニタリングにより至適濃度を得ていたが、緩解までには至っていなかった。夜半より発熱・症状悪化が見られ、主治医はハベカシン(100mg/回、1日2回)投与を開始し、主治医より投与に対する評価の依頼があった。初期設定の結果、ピーク7.0μg/mL、トラフ0.8μg/mLが予測された。ハベカシンの効果はピークを高くし、副作用の回避にはトラフを低くする必要があり、本投与方法では十分なピークが得られない事が予測されたため200mg、1日1回への処方変更を提案し、変更となった。また、主治医に、採血と腎機能の観察を依頼した。採血の結果、ピーク13.0μg/mL、トラフ0.5μg/mLであり、良好な結果を得た。処方変更後、解熱とCRPが低下し、患者の症状改善傾向が認められた。また、腎毒性・聴覚毒性等の副作用発現も認められていない。主治医にハベカシンの薬剤特性について改めて説明した。